

快適な自転車社会を夢みて

～福岡都心部におけるレンタサイクル運用の提案～

1. 提案の背景

自転車はエコで便利な乗り物である。用途は通勤・通学、レジャー、観光等、多岐に渡る。

福岡天神地区では、主に買い物やレジャーにおける交通手段としてよく利用されており、これは、地形的に平野部が多く、自転車を利用しやすい環境であることが要因と推測される。今後も健康志向の高まりなどから、さらなる利用者の増加が見込まれている。

近年、福岡市における交通事故件数は年々減少傾向にあるものの、全体事故件数に占める自転車事故の割合は増加傾向にある（表-1）。

表-1 福岡市における自転車事故件数等の推移

	自転車事故 件数(A)	全事故件数(B)	全事故に占め る割合(A)/(B)
平成 17 年	3,697	15,999	23.1%
平成 18 年	3,642	15,687	23.2%
平成 19 年	3,181	13,723	23.2%

※「議会調査レポート第4号自転車の安全利用について」

平成 20 年 8 月 福岡市議会事務局より



写真-1 違法駐輪の状況



写真-2 駐輪施設の利用状況

また、福岡都心部では放置自転車対策として、持続的に駐輪場の整備を行っているものの、歩道等では、未だ違法駐輪が見受けられ（写真-1）、さらに、駐輪施設付近では満車が要因で、施設外に不法駐輪されている（写真-2）。このことから、都心部に流入する自転車量に対し、駐輪施設の量はまだまだ不足しているということが伺える。

このような状況の中で、福岡市では、快適かつ安全な自転車利用環境を確保することを目的として、平成 16 年 7 月に策定した「福岡市自転車利用総合計画」に基づき、継続的に自転車の安全利用対策を進めている。しかしながら、上述する問題の解決には長期間を要し、抜本的な解決にはいたっていない。

放置自転車対策の一つとして駐輪場施設の増設が挙げられるが、昨今の財政難の折り、効率的・効果的、かつ戦略的に対策を行っていくことが求められている。効率的・効果的な放置自転車対策として、近年、都市部では、都市型レンタサイクルの運用が注目されている。

本稿は、快適な自転車社会の実現に向け、福岡都市部におけるレンタサイクル運用のあり方について提案するものである。

2. 提案の概要

福岡都心部において推奨するレンタサイクルの運用方法を以下に示す。

- ・ 事業主は福岡市と市民団体の協働による。
- ・ レンタサイクルは撤去された放置自転車および市民から提供を受けたものを塗装・改良し使用する。
- ・ レンタサイクル（イメージ図-1）およびレンタサイクル用無料ポート案内板（イメージ図-2）に広告枠を設け、企業より広告料を徴収する。
- ・ 市の有人駐輪場や提携したホテル、コンビニ、企業等をサイクル基地とし、どのサイクル基地でも乗り捨て自由とする。
- ・ 利用者はサイクル基地の管理人に身分証明書（学生証や運転免許証等）を提示し、利用料のほか保証金として2,000円を支払う。なお、保証金はレンタサイクル返却時に返金されるものとする。
- ・ 利用者は観光施設やショップ等付近に点在して設置されたレンタサイクル用ポート（イメージ図-3）を無料で何度でも使用できるものとする。なお、レンタサイクル用ポートに駐輪されたレンタサイクル以外の自転車は撤去するものとする。無料ポートは、幅員の大きな歩道を利用し駅周辺・店舗など利便性を考慮し、市内随所に設置する。

別紙に運用マップおよび運用モデルを示す。



イメージ図-1 レンタサイクル



イメージ図-2 レンタサイクル用無料ポート案内板



イメージ図-3 レンタサイクル用無料ポート
(博多区役所前歩道)

3. 今後の課題点

今後の課題点を以下に示す。

- ・ 将来的には無人サイクル基地の実現や個人認証、レンタサイクル利用状況の把握のため IC チップを活用した運用が望ましい。
- ・ サイクル基地間の自転車の偏りに対する対応が必要。
- ・ 特定の時間や曜日に利用が集中する場合の対応が必要。

4. おわりに

日本は今、成熟期を迎えている。

これからの社会資本整備は、自動車に過度に依存した道路整備に終止符をうち、市民の多様なライフスタイルに沿った質の高い社会の構築に努めるべきである。

近い将来、福岡都心部でレンタサイクルが運用され、自転車が新たな公共交通手段の一つとなり、自転車と歩行者が共存する快適で豊かな社会が実現し、今後も「魅力ある街、福岡」でありつづけることを期待したい。

福岡市博多駅周辺でのサイクル基地と無料ポートの配置イメージ



広告掲載をしている
協力ホテル(サイクル基地)

レンタサイクル用
無料サイクルポート

市の有人駐輪場
(サイクル基地)

広告掲載をしている
協力企業(サイクル基地)

広告掲載をしている
コンビニエンスストアなど
(サイクル基地)

市の無人駐輪場

レンタサイクルの運用範囲

福岡版都市型レンタサイクル運用モデル

企業

広告料

塗装・改良

レンタサイクル



広告

サイクル基地



管理人

事業主



協働

市民団体

レンタサイクル
使用特典付与
(フリーパス等)

身分証の提示
利用料及び保証金
2,000円の支払い

レンタサイクル用
無料ポート



広告

レンタサイクル用
無料ポート案内板

※レンタサイクル利用者は専用ポートを無料で何度でも使用することができる(レンタサイクル利用特典)

自転車

市民からの提供



撤去された放置自転車
(告示後1ヶ月を経過したもの)

メンテナンス

収入

利用者

保証金2,000円の返金

サイクル基地



管理人

観光施設
ショッピング
グルメ